

デジタルサラウンドヘッドホンシステム

使用上のご注意／主な仕様

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この使用上のご注意／主な仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。使用上のご注意／主な仕様および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2018 Sony Corporation
Printed in Malaysia

* 4 7 3 2 2 8 6 0 2 * (1)

WH-L600

マニュアルについて

取扱説明書には以下の3種類があります。



接続方法や基本的な使いかたを説明しています。

使用上のご注意／主な仕様(本書)



使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

本機の使いかたを詳しくお知りになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処方法もわかりやすく記載しています。

パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

ヘルプガイドURL:
<http://rd1.sony.net/help/mdr/whl600/ja/>

ヘルプガイド二次元コード:

**警告** 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがついた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

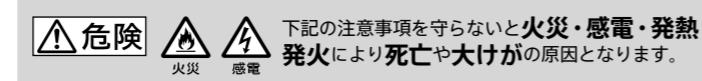
変な音・においがしたら、煙が出たら



① 電源を切る

② ACアダプターをコンセントから抜く

③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する



指定以外のACアダプターを使わない

本機を使用するときは、必ず指定のACアダプターを使用してください。破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



火の中に入れない

事故や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



分解しない

事故や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置・充電しない

**警告** 下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



本機を海外で使用しない

ACアダプターは日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

**注意** 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。



本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



通電中のACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がぶれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



かゆみなど違和感があったら使わない

本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。



長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。



お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏電・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏電・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

① 電源を切る
② ACアダプターをコンセントから抜く
③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあります。目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になることがあります。すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告 充電式電池について

・指定されたACアダプター以外で充電しない。

・火の中に入れない。分解、加熱しない。

・火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

・外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

・一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない、火災や破裂の原因となることがあります。

・電池が漏液したり、異臭がある時には直ちに火気より遠ざけてください。

本機を廃棄する

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏面に記載されています。)

Li-ion

商標について

・Virtualphones Technologyはソニー株式会社の商標または登録商標です。

・本機はドルビーアトモス®デコードーおよびドルビーブルーレイ®(H.265)、MPEG-2 AAC (LC) デコーダー、DTS®デコーダーを搭載しています。

・本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI®) 技術を搭載しています。HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

・“ブライアリング”および“BRAVIA Link”ロゴはソニー株式会社の登録商標です。

・“PlayStation”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、Pro Logic、Surround EX、AACロゴ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

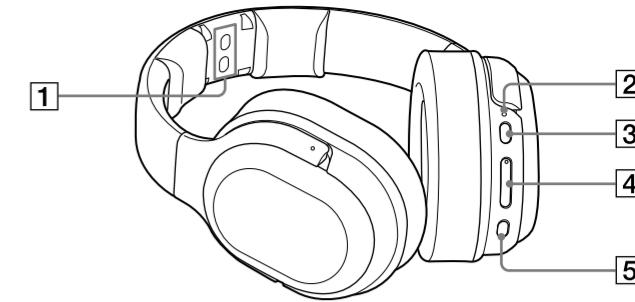
** DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTSとシンボル、およびDigital Surroundの組み合わせはDTS社の登録商標です。

©DTS, Inc. All Rights Reserved.

各部の名前と機能

各部の名称や機能について詳しくは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

ヘッドホン WH-L600R



① 充電端子

プロセッサーの充電コネクターに設置することで充電できます。

② 電源/充電ランプ

動作中は緑に、充電中は赤に点灯します。

③ POWER (電源) ボタン

約2秒押すと、電源をオン/オフできます。

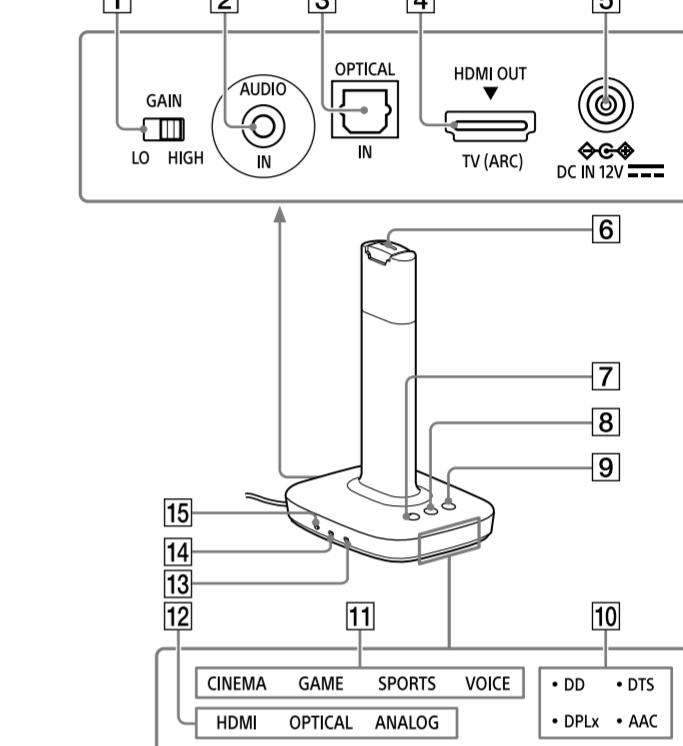
④ VOL (音量) +/- ボタン

音量を調整します。

⑤ SOUND FIELD ボタン

音場モードを切り替えます。

プロセッサー TMR-L600



① GAINスイッチ

アナログ入力信号のゲインを設定できます。</div

使用上の注意

HDMI機器の接続に関するご注意

- HDMI認証を受けたHDMIケーブルをご使用ください。
- ケーブルタイプロゴの明記されたソニー製のHigh Speed HDMIケーブルを推奨します。
- HDMIケーブルでない機器の映像がきれいに映らなかったり、音が出ないときは、接続機器側の設定を確認してください。
- また、音が出ないとときは「困ったときは」の「本機からテレビの音が出ない」の項目もご確認ください。
- HDMI端子からの音声信号(サンプリング周波数、ビット長など)は、接続機器により制限されることがあります。
- 接続機器からの音声出力信号のチャンネル数やサンプリング周波数が切り換えられた場合、音声が途切れることができます。

警告音・動作音について

ヘッドホンの状態に応じて、以下のような警告音・動作音が鳴ります。

- 「ビビビビビビビビ…」と短い音が鳴りつづける。

ヘッドホンがプロセッサーからの電波を受信できています。

電波の届く範囲に移動してください。

プロセッサーの電源を入れてください。

プロセッサーとACアダプター、電源コンセントの接続を確認してください。

プロセッサーとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認してください。

プロセッサーの位置を変えてください。

- 「ピー」と長い音(約2秒)が1回鳴り、電源がオフになる。

ヘッドホンの充電池が消耗すると「ピー」という警告音(約2秒)が鳴り、電源が切れます。充電の無い状態でも電源はありますが、すぐに電源が切れます。ヘッドホンを充電してください。

- 「ピッ」と短い音が1回鳴り、電源がオンになる。

ヘッドホンに電源が入ったお知らせです。異常ではありません。

- 「ピー」と短い音が1回鳴り、電源がオフになる。

ヘッドホンの電源が切れたお知らせです。異常ではありません。

そのほかの警告音についてはヘルプガイドをご覧ください。

自動電源オフ機能について

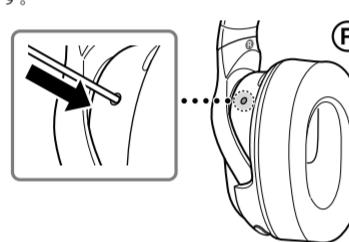
何も操作せず、また音声が入力されないまま約20分が経過すると、プロセッサーは自動的にオフ状態になります。

- ノイズなどの影響で20分以上かかる場合や機能しない場合があります。

本機の動作がおかしいときは

- 本機をリセットしてください。

ピンなど先の細いものでヘッドホンのリセットボタンを押します。プロセッサーからACアダプターをはずし、10秒以上待ってから再度つなぎます。リセットをしても、設定は保持されます。



その他のご注意

取り扱いについて

- プロセッサー、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

- プロセッサー、ヘッドホンを分解したり、開けたりしないでください。

- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合はご注意ください。

-洗面所などの使用

水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。

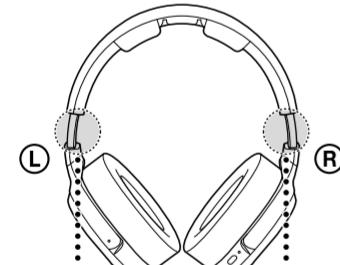
-雨や雪、湿度の多い場所での使用

汗をかく状況での使用

濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- 本機は、力を加えたまま長時間放置すると、変形するおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。

銘版はプロセッサーの底面とヘッドホンのスライダーの内側にあります。



設置について

- 次のような場所には置かないでください。

-直射日光がある場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。

-ほこりの多い所。

-ぐらついた台の上や傾いた所。

-振動の多い所。

-風呂場など、湿気の多い所。

本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いたりして、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災の原因になります。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。火災の原因となります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や車内などには置かないでください。

付属のACアダプターについて

- 必ず付属のACアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因になります。



電圧やプラグ極性が同じACアダプターでも、電流容量その他の要因で故障の原因になります。必ず付属のACアダプターをご使用ください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

- ACアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
 - ACアダプターを本機や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
 - 火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 長い間使わないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプター本体をつかんで抜いてください。

付属の電源コードセットについて

- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

静電気に関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じことがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を自覚してください。

装着に関するご注意

- 本機は密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、本機を耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

ヘッドホンに内蔵の充電式電池について

- 充電は5°C~35°Cの環境で行ってください。この範囲を超えると充電ランプが点滅し、充電できないことがあります。
- 1年以上の長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、年1回程度の充電を行ってください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行なうと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1.本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

3.不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの修理相談窓口までお問い合わせください。

2.4 GHz

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。与干渉距離は10 mです。

お手入れのしかた

機器の外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめたせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

本機は、力を加えたまま長時間放置すると、変形するおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。

銘版はプロセッサーの底面とヘッドホンのスライダーの内側にあります。

主な仕様

プロセッサー TMR-L600

デコーダー機能

Dolby Digital
Dolby Digital EX
Dolby Pro Logic IIx
DTS Digital Surround
MPEG-2 AAC
リニアPCM 2ch

音場モード切換機能

バーチャルサラウンド音場
CINEMA
GAME
SPORTS
ステレオ音場
VOICE
OFF

コンプレッション機能

OFF
ON

変調方式

Pi/4 DQPSK

使用周波数帯域

2.4 GHz帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

ヘッドホン WH-L600R

電源
内蔵充電式リチウムイオン電池

質量

約320 g

同梱品

- プロセッサー (1)
- ヘッドホン (1)
- ACアダプター (DC 12 V) (1)
- 電源コード (1)
- 光デジタル音声ケーブル(光角型プラグ ⇄ 光角型プラグ、1.5 m) (1)
- 取扱説明書 (1)
- 使用上の注意／主な仕様 (本書) (1)
- 保証書 (1)
- その他印刷物一式

推奨アクセサリー(別売)

HDMIケーブル
DLC-HJ7 (0.7 m)、DLC-HJ10 (1.0 m)、DLC-HJ15 (1.5 m)、DLC-HJ20 (2.0 m)、DLC-HJ30 (3.0 m)
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

困ったときは

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。取扱説明書(別冊)やヘルプガイドもあわせてご覧ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

本機からテレビの音が出ない

- テレビと本機をつないでいるケーブルの種類や接続を確認してください。詳しくは取扱説明書の「接続する」をご覧ください。
- HDMI (ARC)入力でないでいる場合、以下をご確認ください。
 - 本機がテレビのARC対応HDMI入力端子に接続されている
 - テレビのHDMI機器制御設定が有効になっている
 - 本機のCTRL FOR HDMIスイッチが「ON」に設定されている
- テレビ(ブラビア)のスピーカー設定を「オーディオシステム」に切り換えてください。設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- ヘッドホンの音量を上げてください。

テレビの電源を入れても、本機の電源が入らない

- 光デジタルケーブルだけ接続している場合、テレビの電源と連動しません。
- HDMIケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
- CTRL FOR HDMIスイッチが「ON」に設定してください。テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源はテレビのスピーカー設定に連動します。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- プロセッサーにヘッドホンが置かれている場合は、プロセッサーの電源は入りません。
- テレビの仕様や設定によっては、前回テレビのスピーカーから音声が放出されていた場合は、テレビの電源を入れても本機の電源が入らない場合があります。

テレビの電源を切ると、本機の電源が切れる

- 本機のCTRL FOR HDMIスイッチの設定を確認してください。CTRL FOR HDMIスイッチが「ON」に設定されていて、本機の入力がHDMIの場合は、テレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

HDMI機器制御が正しく働かない

- 取扱説明書(別冊)を参照して、本機との接続を確認してください。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- しばらく待ってから操作してください。本機の電源コードを抜き差したときは、操作が可能になるまで時間がかかります。15秒以上待ってから操作してください。

音がひずむ、とぎれとぎれになる(同時にノイズが出る場合もある)

- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電する。
充電してもヘッドホンの電源ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- プロセッサーとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサーの位置を変える。
- INPUTボタンで「ANALOG」を選択したときに症状が出る場合は、プロセッサーのGAINスイッチを「LO」に切り換える。
- プロセッサーのAUDIO IN端子にAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を下げる。
- 本機は96 kHzまでの対応です。プロセッサーにつないでいる機器の出力信号を96 kHz以下に設定してください。192 kHzの信号入力時に一瞬